

日光市が「国際観光文化都市」に

長崎・鳥羽と共に指定受ける

日光市が、このほど「国際観光文化都市」として、長崎・鳥羽両市と共に、政令指定都市になりました。これは、十一月十五日に、「国際観光文化都市の整備のための財政上の措置等に関する法律施行令」が公布され、その中で、日光市を含む三市が指定されたものです。この法律は、国際観光文化都市が、国民生活や文化、また国際親善に果たす役割を、改めて見なおし、特に必要な施設を整備促進するための事業計画や財政上の措置を考えようというものです。

指定後は、流動人口を考慮して特に必要とされる都市公園・下水道・道路・清掃施設などの整備計画をたて、これに必要な財政措置（補助金・地方債・特別交付税など）を十分考慮することにより、目的を達成しようというわけです。

日光市は、年間八百万人の観光客を迎え、外国人は十万人、うち一万人が宿泊するという実績と歴史をもつ国際親善都市です。こうした観光客は、今後も増加の傾向が予想され、受け入れ地としての整備を図らなければなりません。指定を機会に、日光市の国際的立場・役割・使命といったものを、市民がみんな考えてみたいものです。

和泉松本道路の舗装工事始まる

野口十文字から月蔵寺前を通る市道二二四号線（和泉松本道路）の舗装工事が、十月三日に始められ、今年度分の舗装工事がこのほど終わりました。

宮内地内の農道が全線舗装

この和泉松本道路の総延長は一、一〇三キロありますが、拡幅される前は二・七キロの非常に狭い道路でした。地元の方に道路拡幅用地を

全線舗装

県道小来川・文挾・石那田線から黒川までの、宮小来川宮内地内の農道の舗装工事がこのほど完成しました。

全線舗装された宮内地内の農道

この宮小来川農道舗装工事は、農業振興地域整備総合対策事業として、十月二十七日に始められたものです。総工事費二百二十七万六千円をかけた道路の長さは二一・一キロ、総幅員四・四メートル、舗装幅員三・五メートルです。

50回大会のシンボル・マーク

ことしは五十回記念大会

日光で十三回目のインカレ

日光での開催が、通算十三回目の第五十回日本学生氷上

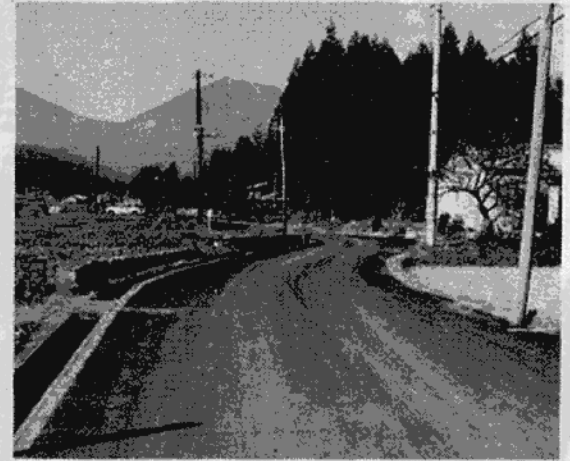
競技選手権大会（インカレ）が、昨年に続き（連続六年）明年一月五日から八日まで、日光スケートセンターを主会場に開かれます。

今回は、第五十回（第一回は大正十四年）の記念大会で、カットのようなシンボル・マークも作られ、特に盛大に行われます。参加大学は四十八校で、選手千五百人

が技を競います。

初日の五日は、午前九時、国鉄駅前から総合会館までパレード、その後、会館で開会式が行われます。

会場は、スケートセンターをはじめ、古河・細尾・中禅寺の各リンクが使用されます。冬の日光に、春一番活気をもたらししてくれるこの大会、記念すべき大会を、市民全員の歓迎で迎えたいものです。



舗装された市道二二四号線

無償で提供していただき、昭和四十二年度から四十九年度にかけて、道路改良工事を行い、今年度から年次計画で全線舗装にすることになりました。

今までは砂利道でくぼみが激しく、路面は排水が悪く、農耕用車両の通行や歩行にも支障をきたしていました。この道路が全線舗装されたことにより、農耕用車両の通行ばかりでなく、一般生活道路としての利用が多く、地域住民に大変喜ばれています。